

第3章 視察

1. G20海外開催地視察

(1) ハンブルク視察

2017年にG20サミットを開催したハンブルク市を、2018年6月13日から6月17日まで訪問した。

日本国総領事館や市役所を訪れ、サミット開催に向けて助言を受けるとともに、首脳会議場として使用されたハンブルク・メッセや晩餐会会場であるエルプフィルハーモニー等を視察し、要人の安全確保に向けた対策等の有益な話を聞くことができた。



ハンブルク・メッセの視察



エルプフィルハーモニーでの打合せ

(2) ブエノスアイレス視察

南米初のG20サミットを2018年11月30日から12月1日まで開催したブエノスアイレス市を、2019年1月6日から1月13日まで訪問した。

訪問がサミット開催直後であったこともあり、G20のため政府が組織した事務局(G20テクニカルユニット)やブエノスアイレス市役所を訪れ、直接担当者からサミット開催時の規制・警備状況や各関係機関の対応等の有益な話を聞くことができた。また、サミット本会場として使用されたコスタ・サルゲロをはじめ、コロン劇場、ビジャ・オカンポ、ブエノスアイレス・ラテンアメリカ・アート美術館やパルケノルテ(メディアセンター)等を視察した。



コスタ・サルゲロの視察



ブエノスアイレス市役所での打合せ

2. 国内視察

(1) 三重県視察

大阪での取組みの参考とするため、2016年に伊勢志摩サミットが開催された経験をもつ三重県庁を2018年4月20日に当協議会事務局の担当者レベルで訪問した。また、2018年4月27日に事務局幹部が訪問し、情報収集を行った。

事務局予算や体制、レセプション開催や広報、地域住民や事業者に関することなど、サミット開催にかかる様々な情報やノウハウを聞くことができた。

(2) 横浜市視察

大阪での取組みの参考とするため、2010年日本APEC(アジア太平洋経済協力、Asia Pacific Economic Cooperation)横浜を開催した経験があり、さらに第7回TICAD(アフリカ開発会議、Tokyo International Conference on African Development)の開催準備中である横浜市を、2018年5月2日に当協議会事務局の担当者レベルで訪問し、情報収集を行った。

APECやTICADの開催経験をふまえ、宿泊予約センターの設置や輸送、危機管理に関すること等について、有意義な情報を得ることができた。